

2014年2月3日 全5頁

【統計情報】景気が見えるグラフ32(2014年2月号)

データバンク室

[要約]

■ I. 国内景気

GDP統計／実質成長率……………4四半期連続成長も伸び率は縮小
 鉱工業生産指数……………1年8カ月ぶりの水準に上昇
 日銀短観／業況判断DI……………4Q実績は改善、先行き予測は慎重な見方
 景気動向指数CI……………両指数穏やかな上昇基調続く
 設備投資動向……………機械受注伸び率が10%超に
 消費総合指数……………上昇基調続く
 貿易収支……………赤字額は高水準
 対米・対アジア輸出数量……………対アメリカがやや減少
 新設住宅着工……………前年比+18.0%で16カ月連続増
 首都圏マンション販売……………12月単月では前年比+6.1%と減速
 物価動向……………消費者物価は7カ月連続の前年比増
 マネーストック……………12月末のマネーベース残高は200兆円超え
 完全失業率……………12月は3.7%
 有効求人倍率……………1.03倍に改善
 企業倒産件数……………前年比減少率拡大傾向続く
 日銀短観／資金繰り判断DI……………中小企業DI、プラス圏に

■ II. マーケット

為替レート	実効為替レート
日米株価指数	中国・ブラジル株価指数
日米欧政策金利	日米独国債流通利回り
中国・ブラジル・インド政策金利	商品指標（原油・金）

■ III. 海外経済

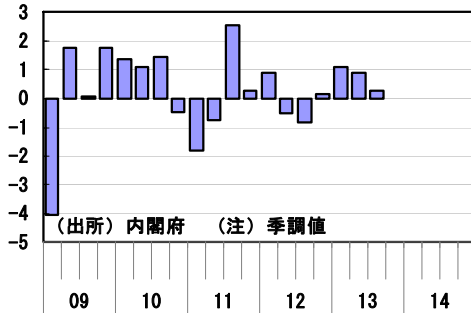
米国GDP／実質成長率……………4Q速報値、プラス3.2%
 米国雇用統計……………12月の雇用者数は、プラス7.4万人増
 米国小売売上高……………12月の全体は、前月比プラス0.2%
 米国PCEデフレーター……………12月のコアデフレーターは、プラス1.2%
 中国GDP／実質成長率……………4Q、伸び率プラス7.7%
 中国鉱工業生産……………12月はプラス9.7%増
 中国消費者物価指数……………12月の全体は、プラス2.5%増
 中国PMI景気指数……………1月は50.5%に低下

当資料は2月1日までの公表データで作成しています。

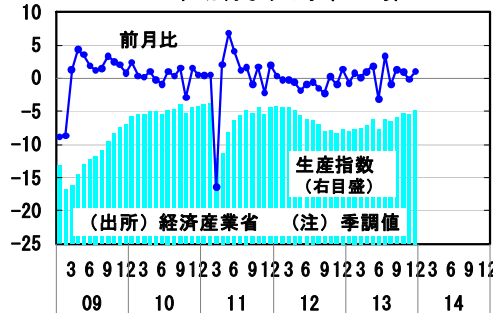
* 大和総研のウェブサイトでは、「景気が見えるグラフ32(詳細版)」を公開しております。ご活用いただければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

I. 国内景気

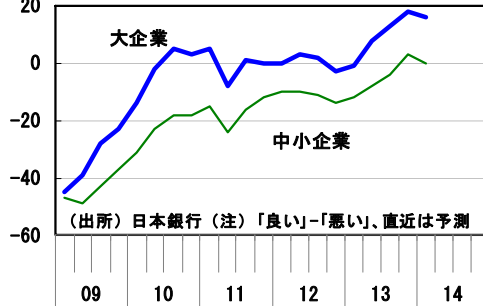
GDP統計／実質成長率
(前期比%) ~ 4 四半期連続成長も伸び率は縮小~



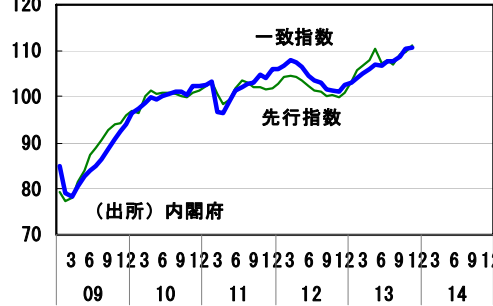
鉱工業生産指数
~1年8ヵ月ぶりの水準に上昇~ (2010年=100)



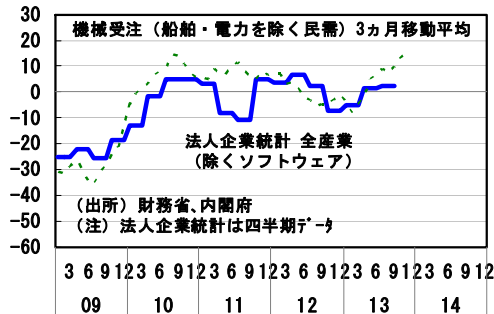
日銀短観／業況判断DI
(%ポイント) ~40実績は改善、先行き予測は慎重な見方~



景気動向指数CI
~両指数穏やかな上昇基調続く~ (2010年=100)



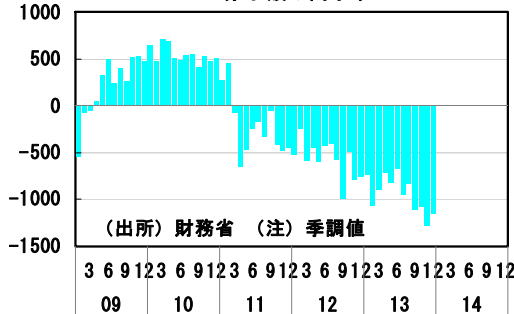
設備投資動向
~機械受注伸び率が10%超に~ (前年比%)



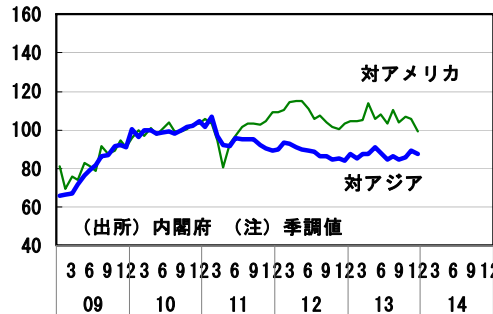
消費総合指数
~上昇基調続く~ (05年=100)

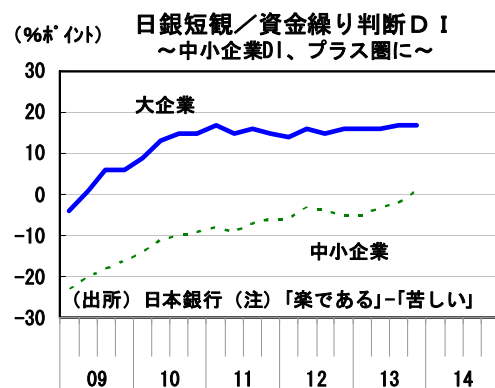
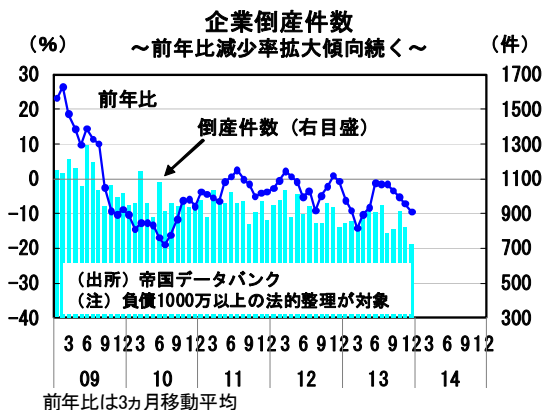
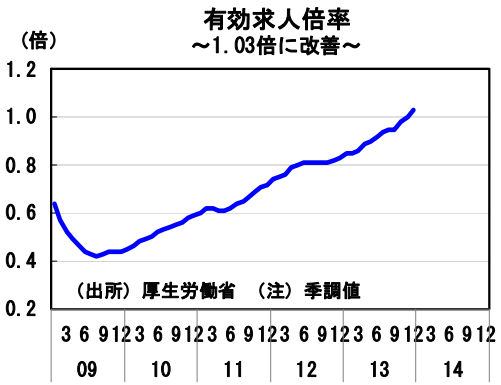
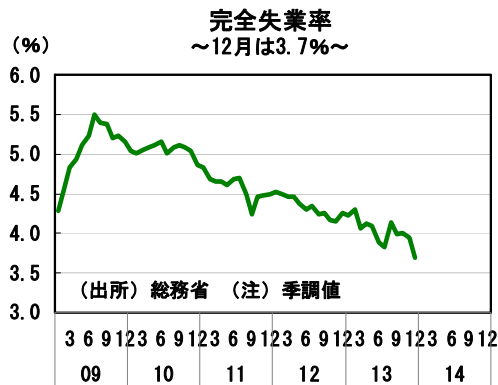
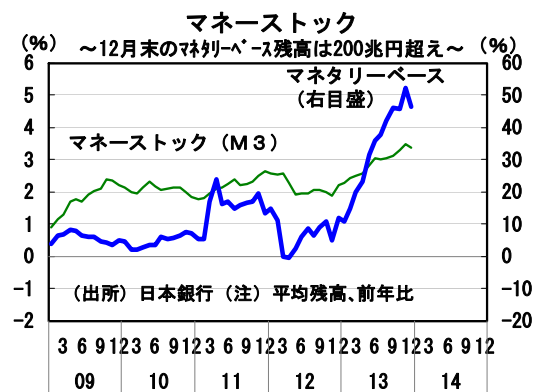
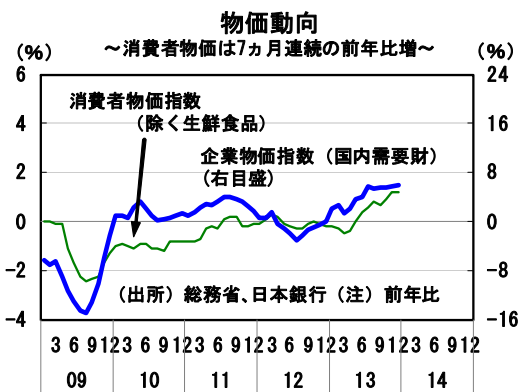
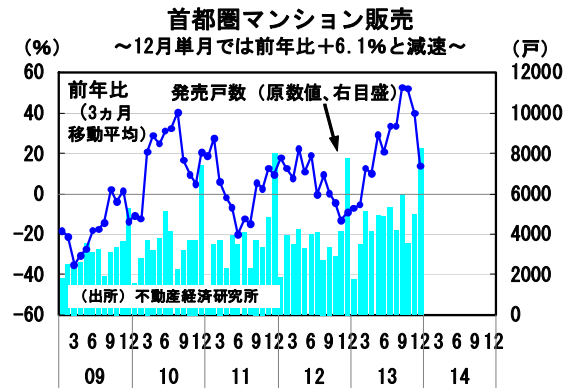
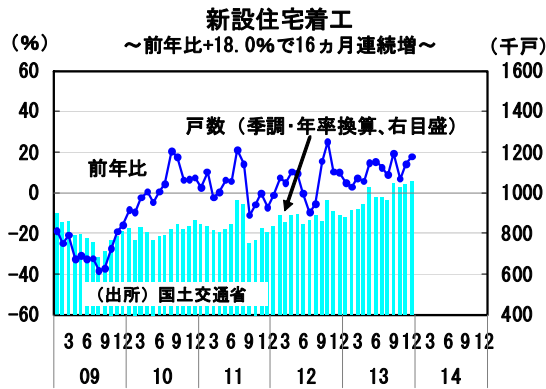


貿易収支
~赤字額は高水準~ (十億円)

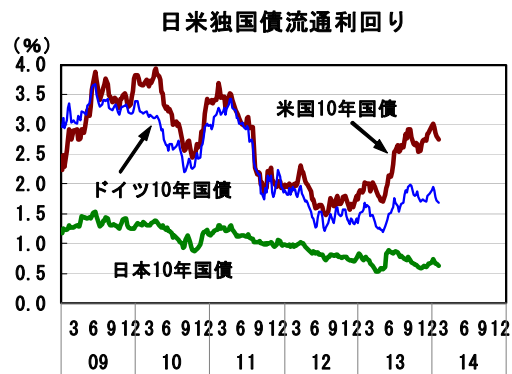
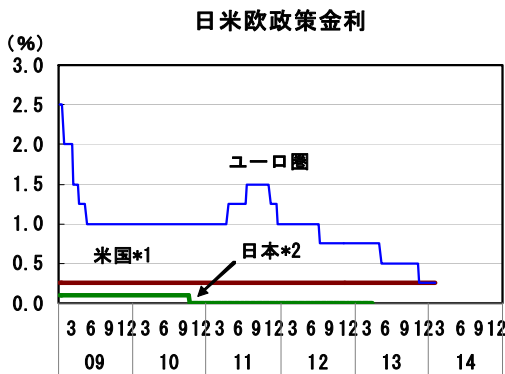
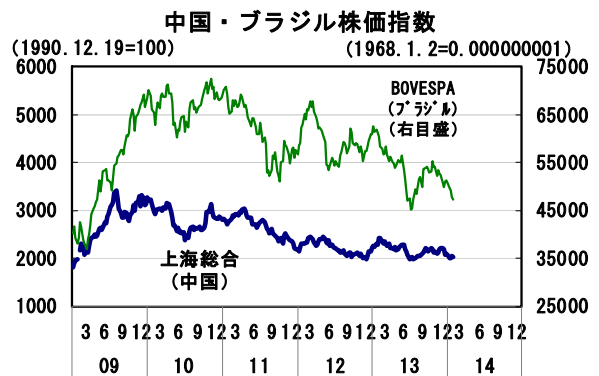
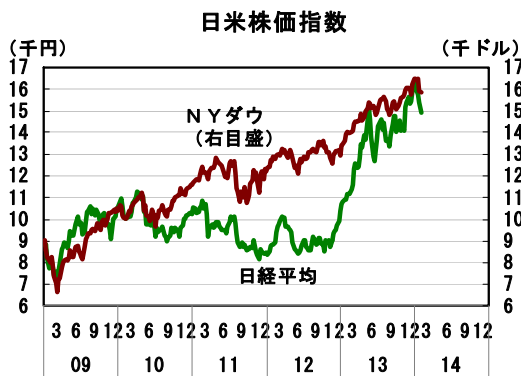
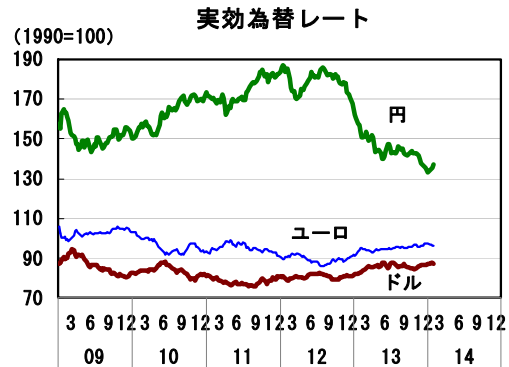
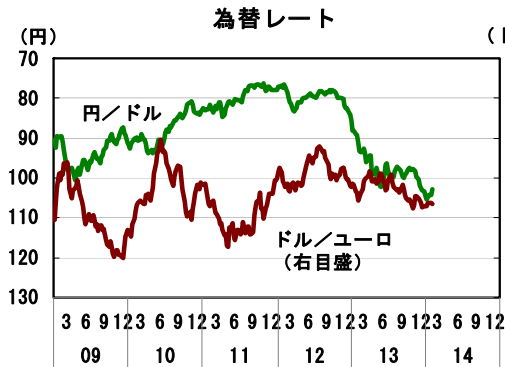


対米・対アジア輸出数量
~対アメリカがやや減少~ (2010年=100)

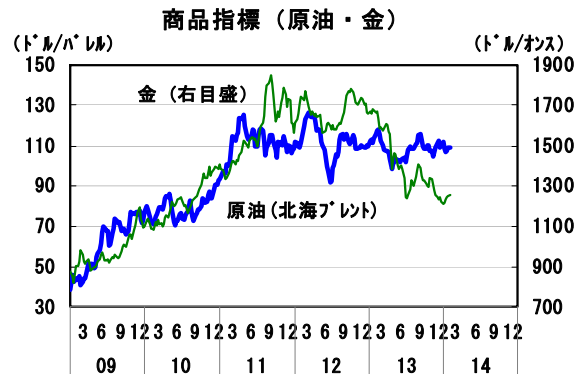
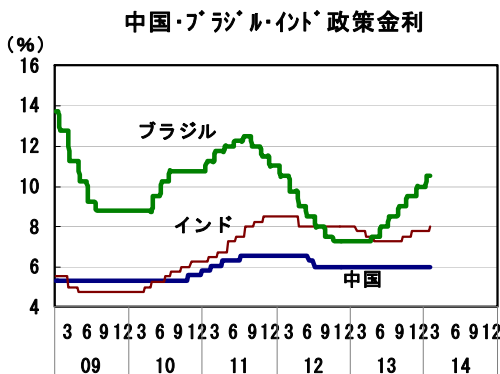




II. マーケット



*1)米国 2008/12より0.00%~0.25%
 *2)日本 金融市場調整の操作目標をマネタリーベースへ変更(2013/4)



(出所) 当頁、全グラフのデータは、各国証券取引所、各国中央銀行等の公表データです。

Ⅲ. 海外経済

